冬(12月～2月)の季節・行事絵本		
タイトル	**人名**	**出版社**
内容		
あけましておめでとう	中川　ひろたか／文	童心社
今日はおしょうがつ。おせち、おぞうに、おとしだま、はつもうで、はねつき、かるたとり…。一年のはじまりの日、いつもとちがうあたらしいきもち、だからあけましておめでとう。かわいらしいお正月の絵本。		
あのね、サンタの国ではね…	黒井　健	偕成社
サンタクロースって、クリスマス以外は何をしているのかな？		
いいことってどんなこと	神沢　利子	福音館書店
雪解けがはじまり、ゆきのしずくも小鳥も、川も風もうれしそう。女の子が「どうして、そんなにうれしいの？」とたずねると、みんな「いいことがあるからよ」と答えます。女の子が最後にみつけた「いいこと」とは…？		
いろいろクリスマスツリー	おおで　ゆかこ／作	アリス館
ちは、みんなで氷山を削って、ツリー・スライダーを作り…。動物たちが、思い思いにクリスマスツリーを作ります。		
エリーちゃんのクリスマス	メアリー・チャルマーズ／さく	福音館書店
いぬのハリーたちと一緒にクリスマスツリーの飾りつけを始めたエリーちゃん。ところが、てっぺんに飾るお星さまがありません。そこでエリーちゃんは、お星さまを探しに森へ出かけますが…。		
おかしなゆきふしぎなこおり	片平　孝	ポプラ社
雪が降ったら、外へ出かけてみよう。あっちにもこっちにも、雪や氷のおかしな形が見えるはず。冷たい空気と水がつくる、大迫力の雪と氷の世界を写真で紹介する。		
おしょうがつおめでとうはじまりの日！	増田　裕子	文溪堂
おおみそか、猫のみ～みは、いつもと違う家族の雰囲気に興味津々！なんだか、新しいことが始まる予感がします…。読んで楽しいお話と、作って＆食べて楽しいお正月の豆知識を収録。		
おしょうがつのかみさま	おくはら　ゆめ／[作]	大日本図書
お正月の神さまは、毎年毎年、姿を変えてやってくる。動物たちは、おうちをきれいに掃除して、しめ飾り、門松を飾って、お正月の神さまを呼びます。神さまは、どんな姿でやってくるのでしょうか…。		
おにはうち!	中川　ひろたか／文	童心社
幼稚園によくやってくる男の子。「ぼく、おなまえは?」「…にお」。ところが、みんなが野球のあと、節分の豆まきをやろうとしたところ「にお」君はとつぜん逃げ出して…。		
おにはそと	瀬名　恵子	金の星社
子どもたちに豆をぶつけられて逃げ帰った鬼たち。でも小さい鬼の「ちび」は、逃げずに子どもたちと仲良くなりました。「ちび」が人間に捕まったと思った鬼たちは、「ちび」を取り返すために武器とよろいを作り…。		
おもちのきもち	かがくい　ひろし／作・絵	講談社
おもちだって、いろいろなやみがあるんです。きょうだいたちは、にんげんにたべられてしまうし…。そこでわたくし「かがみもち」は、お正月、とある決心をしました!		
かえるをのんだととさん（日本の昔話）	日野　十成	福音館書店
腹の痛くなったととさん。かかさんに「お寺の和尚さまにきいてみなさるといい」と言われ、お寺にでかけていったと。すると和尚さまに「腹の中にいるむしのせいじゃ。蛙を飲むといい」と言われ、蛙を飲み込んだが…。		

きょうとあしたのさかいめ	**最上　一平**	**教育画劇**
今日はおおみそか。秋に遠くに働きにいったみのりのお父さんが、みんなとお正月をむかえるために帰ってくる日です…。お正月の準備を通して家族のぬくもりが伝わってくる、おおみそかの由来話。		
くすのきだんちはゆきのなか	**武鹿　悦子**	**ひかりのくに**
冬がきて、雪にすっぽりつつまれた、くすのきだんち。そこへ、いたちの郵便屋さんが手紙をどっさり届けにきて…。		
クリスマスかぞえうた	**西村　敏雄／さく**	**白泉社**
1で、いちごのケーキをかって、2で、にぎやかツリーができました。3で、サンタがプレゼントをもって、4で、しずかにでかけます。サンタさんは何をもってきてくれるかな? クリスマスの楽しいかぞえうたのほん。		
クリスマスにくつしたをさげるわけ	**間所　ひさこ／作**	**教育画劇**
「サンタクロースのおじいさん、くるかな？　くるかな？」　みんながまっているクリスマス。クリスマスの前の夜、くつしたを枕元にさげてねるのはどうしてでしょう。そのわけをおはなししましょうね。		
クリスマスのふしぎなはこ	**長谷川　摂子**	**福音館書店**
僕がクリスマスの朝に見つけた箱の中には、サンタさんの姿が見えた。箱を開けるたびに、サンタさんはそりに乗ってどんどん進んでいって…。サンタさんがだんだん家に近づいてくる期待感がいっぱいの絵本。		
クリスマスのまえのばん	**クレメント・C・ムーア／ぶん**	**福音館書店**
アメリカの古典的名作を、著名なイラストレーター・デンスロウが素晴らしい絵本に仕立て上げた。クリスマスの夜、目を覚ました父さんが見たのは、大きな袋をかついだ愉快なセントニコラスのおじいさん。		
クリスマスの森	**ルイーズ・ファティオ／文**	**福音館書店**
クリスマスプレゼントを届ける前に森でひと休みしたサンタは、おもちゃ作りで疲れていたせいで、うっかり眠ってしまう。それを見たキツネは、森の動物たちを集め、みんなで手分けしてプレゼントを届けることに…。		
ぐりとぐらのおきゃくさま	**中川　李枝子**	**福音館書店**
雪合戦をしていたぐりとぐらは、雪の上に大きな長靴の跡を見つけました。足跡は森を抜けて原っぱを通り、ぐりとぐらの家のドアの前で消えています。いったい誰の足跡なのでしょう？☒		
こぶたのブルトン　ふゆはスキー	**中川　ひろたか**	**アリス館**
「冬はやっぱり、スキーでしょう」ブルトンはテレビを見ながら、そうつぶやきました。スキー場へと向かうブルトンに、次々とおかしな仲間が集まって、ついにはジャンプ台へ！		
さんかくサンタ	**ｔｕｐｅｒａ　ｔｕｐｅｒａ**	**絵本館**
さんさんさんかく、さんかくサンタ。まん丸ふくろを背中に背負って、四角いお家に入っていった…。三角、丸、四角で展開する、リズミカルで愛らしいクリスマス絵本。		
サンタさんからきたてがみ	**たんの　ゆきこ**	**福音館書店**
クリスマスの前の日、ねずみの郵便屋さんは手紙を雪の中に落としてしまいました。そして一通だけ宛名が濡れて読めなくなってしまいました。さて、誰にきた手紙だったのでしょう？		
サンタクロースってほんとにいるの？	**てるおかいつこ／文**	**福音館書店**
煙突がなくても、カギがかかっていても来るの?という問答形式で、いろいろな質問に答え、大人たちがサンタクロースの存在を信じさせようとする。		
じっちょりんのふゆのみち	**かとう　あじゅ**	**文溪堂**
じっちょりん家族は、冬を過ごすため、おじっちょりんとおばっちょりんの家へ向かいます。途中、霜柱の中から出られなくなった仲間を見つけて…。		

１０ぴきのかえるのおしょうがつ	間所　ひさこ／さく	ＰＨＰ研究所
冬眠していた10ぴきのかえるは、もちつきの音で目をさまし、お正月は面白いと知ります。早速自分たちも大そうじから始めました。		
１０ぴきのかえるのふゆごもり	間所　ひさこ／さく	ＰＨＰ研究所
冬も眠らずに遊んでいたい10ぴきのかえるたちは、地面の下に楽しい"ふゆごもりハウス"をつくることにしました。		
七ふくじんとおしょうがつ	山末　やすえ	教育画劇
お年玉で買ったたこをあげたら、七福神がやってきて、とってもにぎやかなお正月になったよ。おせち料理の意味や年神さまのことなど、お正月の由来を紹介。新しい年を祝える絵本。		
十二支のはじまり	岩崎　京子／文	教育画劇
昔、ある年の暮れ、神さまが動物たちにおふれを出したんだと。「正月の朝、ごてんに来るように。来たものから順に12ばんまで、その年の大将にする」 ところがねずみはねこにうそを教えて…。		
１４ひきのもちつき	岩村　和朗	童心社
お父さんがまきを割り、おじいさんがかまどに火を入れ、おばあさんがお米の水をきり、それをさっちゃんがせいろに入れ…。みんなで力を合わせてもちつきの準備。さあ、どんなおもちができるかな。		
せつぶんだまめまきだ	桜井　信夫	教育画劇
昔、冬から春へと季節が変わる頃に、人々は豆をまき、いわしを焼いてその頭をヒイラギの枝にさして、悪い鬼を追い払うことを始めました。そんな節分の行事の由来をお話で。		
そりあそび（ばばばあちゃんの絵本）	さとう　わきこ／さく・え	福音館書店
外は冷たい雪。ばばばあちゃんが、ストーブにあたって編み物をしていると、雪だらけのこいぬとこねこ、きつねたちがストーブを求めて飛びこんできた。そこで、ばばばあちゃんは特別なあたたまり方を提案する。		
ちいさなもみのき	マーガレット・ワイズ・ブラウン／さく	福音館書店
森のはずれに小さなもみの木が1本立っていました。ある日、男の人が来て、もみの木を自分の家に運びました。その家には病気の男の子がいました。心のふれあいを静かに、美しく描く、やさしさあふれるクリスマス絵本。		
つらら　みずとさむさとちきゅうのちから	細島　雅代	ポプラ社
つららは、どんなところにできるのかな？　つららは、どうして長くなるのかな？　冬になると身の回りや自然の中で見かけるつらら。つららの知られざる魅力を、美しい写真とともに伝える。つららをつくる実験も紹介。		
とらたとおおゆき	中川　李枝子	福音館書店
おおゆきがふったひ、おとうさんがとらたにそりをつくってくれました。こうえんのやまで、とらたはとらこや、うさきちたちとそりであそびます。		
ねずみのおいしゃさま	中川　正文	福音館書店
りすのぼうやがかぜをひいたので,ねずみのおいしゃさんは,夜の雪の中へと往診にでかけますが…。		
ねずみのさかなつり	山下　明生	ひさかたチャイルド
いたちの父子が氷に穴をあけて釣りをしているのを見たねずみの子ども達は自分達もしてみたくなりました。そこで、そりを作ってお母さんと湖へ出かけます。		
はじめてのゆき	中川　李枝子	福音館書店
朝、とらたはびっくり。どこもかしこもまっ白。「雪だ！」喜んで外へ出たとらたは、雪の冷たさにまたびっくり。雪だるまと友達になったり、雪晴れの空の青さにおどろいたり…。		

<table>
<tr><td>ばばばあちゃんのおもちつき</td><td>さとう　わきこ／作</td><td>福音館書店</td></tr>
<tr><td colspan="3">雪合戦から帰ってきたこどもたちのために、ばばばあちゃんは、おもちを作ることにしました。臼や杵のかわりに、すりこぎでもち米をペタペタつくばばばあちゃん流のおもちつき。さあ、おもちパーティーのはじまりです。</td></tr>
<tr><td>ばばばあちゃんのクリスマスかざり</td><td>さとう　わきこ／作</td><td>福音館書店</td></tr>
<tr><td colspan="3">今日はクリスマス。ばばばあちゃんは子どもたちと一緒に、クリスマスかざりを作ります。発泡スチロールの箱や板を切り抜いて、針金や木の枝も使って…。ばばばあちゃんのアイデアが光る楽しい工作絵本。</td></tr>
<tr><td>ピッキのクリスマス</td><td>小西　英子／作</td><td>福音館書店</td></tr>
<tr><td colspan="3">今日はクリスマス・イブ。リナが街で買い物をしている最中に、大切な人形のピッキを落としてしまいました。なんとか家に帰ろうとするピッキの前に、サンタクロースが現れ…。人形が大冒険する物語絵本。</td></tr>
<tr><td>ふくはうちおにもうち</td><td>内田　麟太郎</td><td>岩崎書店</td></tr>
<tr><td colspan="3">節分の夜、男が一人で酒を飲んでいると、外で「さむいよう」と声がする。だれかと思ったら、鬼たちだった。それなら入れと男は誘い、やがて宴会がはじまった。そこへ…。</td></tr>
<tr><td>ふゆとみずのまほうこおり</td><td>片平　孝／写真・文</td><td>ポプラ社</td></tr>
<tr><td colspan="3">冬の寒さが、水に魔法をかけた! 池や湖にはる氷、モザイク模様の氷の結晶、水辺の木に波しぶきが凍りついた「しぶき氷」…。氷が見せる多様な姿・形と不思議な性質を、美しい写真とともに紹介します。</td></tr>
<tr><td>まじょのぼうし</td><td>佐藤　芽実</td><td>ハッピーオウル社</td></tr>
<tr><td colspan="3">まじょはクリスマスが大嫌いです。でも、クリスマスの夜、森の動物たちがやってきて…。クリスマスが大嫌いだったまじょが、クリスマスが大好きになったお話。</td></tr>
<tr><td>まどから★おくりもの</td><td>五味　太郎</td><td>偕成社</td></tr>
<tr><td colspan="3">窓をのぞいて、みんなにぴったりの贈り物を届けるサンタさん。☒</td></tr>
<tr><td>まめまきバス</td><td>藤本　ともひこ</td><td>鈴木出版</td></tr>
<tr><td colspan="3">今日は節分。なのに、町では、咳をしたかいじゅうおにが大暴れし、みんなに風邪をうつしていました。バスとねずみたちは、かいじゅうおにをやっつけようと豆を投げますが、豆は全然届かなくて…。</td></tr>
<tr><td>みかんのひみつ</td><td>鈴木　伸一／監修</td><td>ひさかたチャイルド</td></tr>
<tr><td colspan="3">おいしいだけじゃない、発見がいっぱい! だいだいいろに、まるいぷつぷつ。冬の果物の代表、みかんを「科学」してみよう。そのしくみや実のなり方など成長の過程を、分かりやすく解説する写真絵本。</td></tr>
<tr><td>めがねうさぎのクリスマスったらクリスマス</td><td>瀬名　恵子</td><td>ポプラ社</td></tr>
<tr><td colspan="3">きょうはうれしいクリスマス。ところがかんじんのサンタさんが、グーグージュースをのんでねむりこんでしまったのです。うさことおばけは、かわりにプレゼントをくばることに…。</td></tr>
<tr><td>もうすぐおしょうがつ</td><td>西村　繁男</td><td>福音館書店</td></tr>
<tr><td colspan="3">冬休み、両親と一緒におじいさんとおばあさんのうちへ出かけた、ひろくんとゆうちゃん。大掃除、餅つき、買い物…。家族のお正月の仕度の様子を細々と描く。</td></tr>
<tr><td>ゆき</td><td>ユリ・シュルヴィッツ／作</td><td>あすなろ書房</td></tr>
<tr><td colspan="3">どんよりとした灰色の空から、雪がまいおりてきました。ひとひら、またひとひら。「雪がふっているよ」 男の子ははしゃいで外に飛び出します。どんどん雪はふりつもり、街は真っ白にかがやきます。</td></tr>
<tr><td>ゆきのかたち</td><td>高橋　健司／監修</td><td>ひさかたチャイルド</td></tr>
<tr><td colspan="3">だれがつくったの？　キツネ、風、それとも…？　一面に降り積もった雪。でもよく見ると模様がついていたり、不思議な形をしていたり。自然がつくったさまざまな雪の形を紹介する写真絵本。</td></tr>
</table>

ゆきのひ	**エズラ=ジャック=キーツ**	**偕成社**
雪の日の子どもの遊びを貼り絵風の単純な構成の絵で描く。		
ゆきのひのうさこちゃん	**ディック・ブルーナ／ぶん　え**	**福音館書店**
あるゆきのひ、うさこちゃんは、おそとへあそびにいきました。ゆきであそんでいると、ちいさなことりとであいました。うさこちゃんは、さむくてないていることりに、おうちをつくってあげることに…。		
ゆきのひのホネホネさん	**にしむら　あつこ／さく・え**	**福音館書店**
ホネホネさんは、ゆうびんやさん。きのうふったゆきがつもったので、ホネホネさんはスキーをはいて、ザクザクシューッとしゅっぱつ。ザクザクシューッとすべって、たくさんのひとびとにゆうびんをとどけます。		
ゆきのひのゆうびんやさん	**こいで　たん**	**福音館書店**
風邪をひいたゆうびんうさぎさんにかわって、3匹のねずみが配達に出かけました。ところが外は大雪。ちゃんと配達できるかな?		
ゆきゆきゆき	**たむら　しげる**	**福音館書店**
冬の空、冷たい雲の中で雪の赤ちゃんが生まれ、地上へ舞い降りてくる。ひとつひとつ似ているようで、どれもちがうかたちで…。静かな雪の物語を、詩情たっぷりに描いた絵本。		
ルーちゃんとクリスマスツリー	**下村　明香／ぶん**	**福音館書店**
シロクマの女の子ルーちゃんは、お父さん、お母さん、お姉ちゃんの4人暮らし。やさしくて、なんでもできるお姉ちゃんのようになりたいルーちゃんは「大きくなりたい」と、サンタさんに手紙を書いてツリーにぶらさげ…。		